

冬の地震災害に備える!!

冬に地震が起きると、夏より被害が大きくなるといわれています。冬は、暖房などの火の使用によって火災が発生しやすいことや、積雪の影響で家屋の倒壊が発生しやすいことがあります。また、路面の状況や吹雪などにより避難路の確保や移動に時間がかかることや、ライフラインがストップした場合には、自宅や避難所、車の中などにおける寒さ対策が必要になるからです。

今回は、冬に地震が発生した場合の備えについてお話します。

①雪への備え

冬になると屋根には雪が積もっていますので、地震の揺れによる屋根からの落雪、雪の重みによる家の倒壊の危険性が高くなります。また、崖などの急傾斜地では、なだれが発生しやすくなるなど、冬は夏と比べて思わぬ危険が増えます。災害が発生した際に速やかに避難できるよう玄関先や避難路をこまめに除雪するなどの対策をしておくことが大切です。

②火災への備え

冬は、ストーブなどの暖房器具を使用しているため、夏と比べて火災発生危険性が高くなります。火事が起きたときに初期消火が出来るように、日頃から消火活動の訓練をすることが大切です。

最近の暖房器具は、振動を検知して自動的にガスや灯油の供給を止める機能が備わっていますので、ご家庭の器具がきちんと動作するか、定期的に点検・確認しておくことも大切です。

③寒さへの備え

地震によって電気や水道などのライフラインがストップし、暖房器具が使えなくなることが考えられます。そのため、寒さをしのぐ準備が重要です。電気を使用しない暖房器具の準備、避難が必要となった場合の道中やその後の避難生活でも必要となりますので、防寒着はもちろんのこと防寒シート・毛布・使い捨てカイロを用意しておくことも大切です。

災害はいつ起こるか予測は難しいですが、一人一人が日頃から準備をしておくことで被害を少なくすることは可能です。水や食料、寒さなどに備えるなど、いざという時のために、できることから始めましょう。



気象状況・天気予報の確認先 稚内地方気象台(電話:0162-23-2678)

※稚内地方気象台ホームページ

URL <http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>

※問い合わせ先 稚内地方気象台(電話:0162-23-2679)

平成27年度 全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」のお知らせ

北海道教育委員会では、「平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」に基づき、道内各市町村の状況及び学力向上策を北海道教育委員会義務教育課のHPに公表しています。

パソコン等で閲覧できない場合は、担当までお問い合わせください。

URL : <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/gks/gakuryoku27/top.him>

問い合わせ先 幌延町教育委員会 総務学校グループ (電話 5-1117 告知端末機 5-8817)

2月7日は北方領土の日

わが国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方4島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

「日魯通好条約」署名の日(1855年2月7日)を記念して、2月7日を『北方領土の日』と定め、北海道では、1月21日から2月20日までを「北方領土の日特別啓発期間」としています。



幌延町でもこの期間、役場町民ホールに「北方領土返還要求署名コーナー」を設けますので、署名にご協力をお願いいたします。

十一月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

一人寝の西窓叩く野分かな

三浦 宮吉

野分くる屋根に石置く浜の家

佐藤 光朗

野分あとくすみし庭に迷い鳥

熊谷千恵子

野分来て日めくり暦はぎ取りぬ

富樫とも子

野分晴威容崩さぬ一位の樹

横山 貞雄

とびとびにサイロ野分が叫び出す

田中 徹男